

# 広聴会資料

長崎市議会議員 井上 重久

主な内容

- 1.平成26年度長崎市一般会計予算  
平成23年度決算(一般会計)
- 2.長崎市が計画している今後の大型事業  
現在検討中のMICE施設整備について(概要)  
大型事業の主な概要
- 3.長崎市の主な取り組み



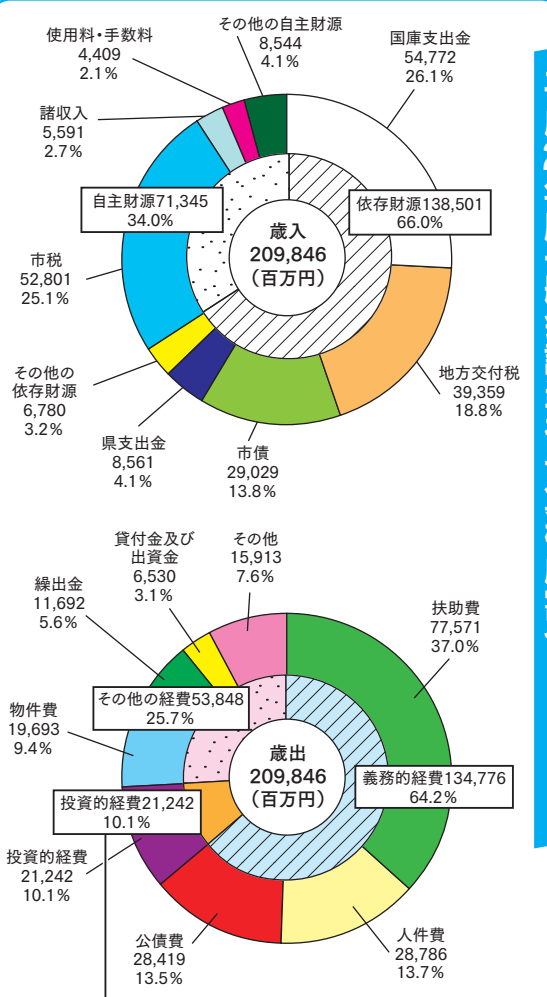
## 1 平成26年度長崎市一般会計予算

平成26年度6月補正予算含む

# 2,119億5,683万8千円

### 2014年度 長崎市一般会計予算の主な事業

項目	事業名	予算案額
平和関連	国の登録記念物「長崎原爆遺跡」の調査・研究	2,963万円
	★原爆資料館に最新の映像機器を整備	4,400万円
世界遺産関連	「明治日本の産業革命遺産」イコモス現地調査対応など	6,945万円
	「長崎の教会群」地元受入体制支援	1,771万円
観光	★国指定史跡「出島和蘭商館跡」で6棟を復元	1億1,540万円
	出島対岸の中島川公園整備事業	10億4,100万円
	野母崎海の健康村の温泉整備	1億360万円
	出島表門橋の基本・実施設計	3,170万円
	グラバー園のイルミネーションなど	5,280万円
産業	地場企業の大学との商品の共同開発などを支援	1,000万円
	産業連携・創業支援 新・商店街活性化モデル事業(浜市商店街)	2,862万円 800万円
防災	大園小など小中14校の耐震補強工事	11億5,800万円
	初期消火用具の軽量化 ★指定緊急避難場所表示板設置	645万円 4,270万円
福祉	養護老人ホームの改築費補助	1億9,485万円
	在宅の障害者に点字ディスプレイなどを給付	1億33万円
子育て	放課後児童健全育成	5億4,893万円
	民間保育所保育士等処遇改善	1億8,256万円
	民間保育所整備事業補助	8億38万円
	私立幼稚園園奨励費補助	5億3,331万円
教育	12の小中学校のパソコンをタブレット型に交換	7,441万円
	市庁舎建設の基金の積み立て	10億1,008万円
その他	長崎がんばらんば国体・がんばらんば大会負担金	16億2,920万円
	★銅座川の暗渠の上にある市場の撤去など	1億9,600万円



#### 投資的経費の推移

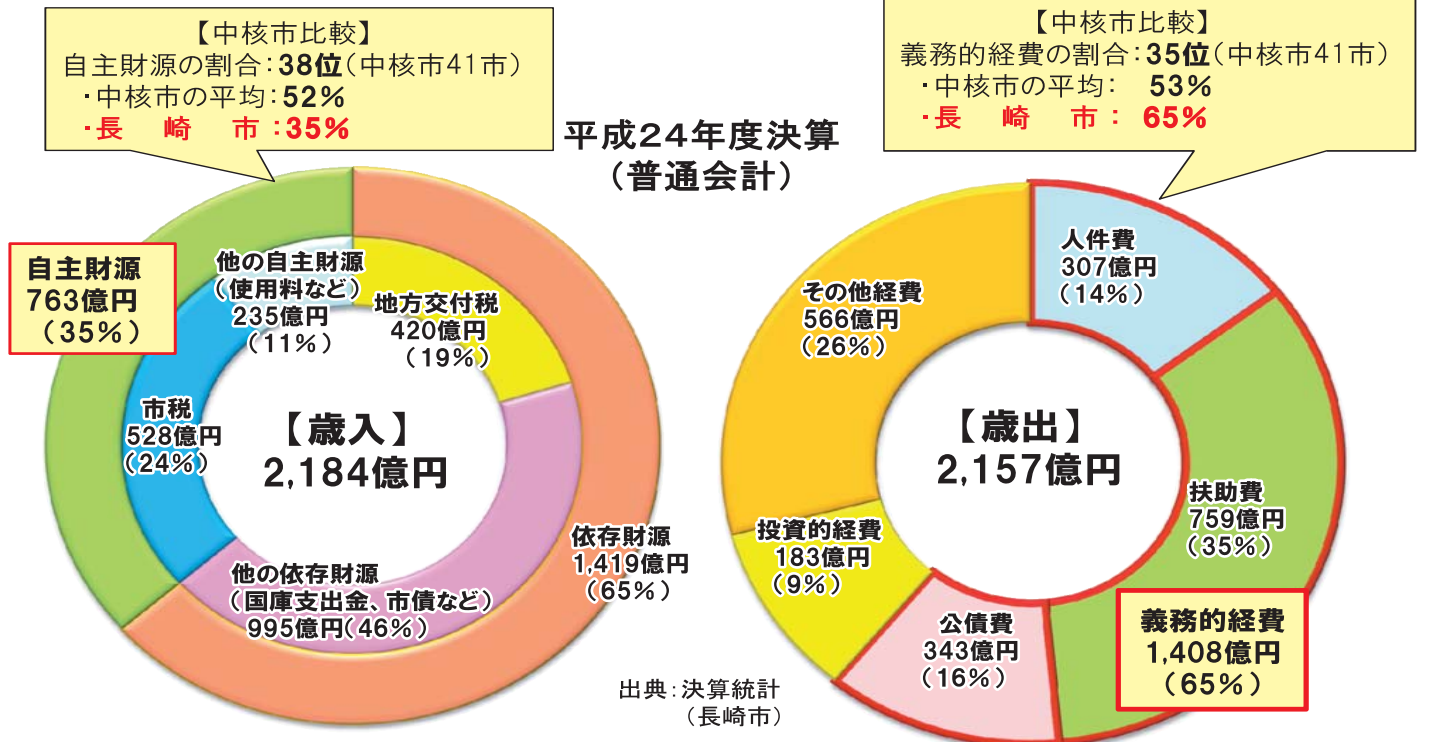
区分	予算額(百万円)	対前年度比
平成22年度 当初	17,851	8.5%
※14ヶ月	19,368	4.9%
平成23年度 当初	18,885	5.8%
※15ヶ月	20,195	4.3%
平成24年度 当初	18,153	▲3.9%
※13ヶ月	18,816	▲6.8%
平成25年度 当初	21,506	18.5%
平成26年度 当初	21,242	▲1.2%

※国の経済対策等に伴う13~15ヶ月ベースでの予算額

## 平成24年度決算(一般会計)

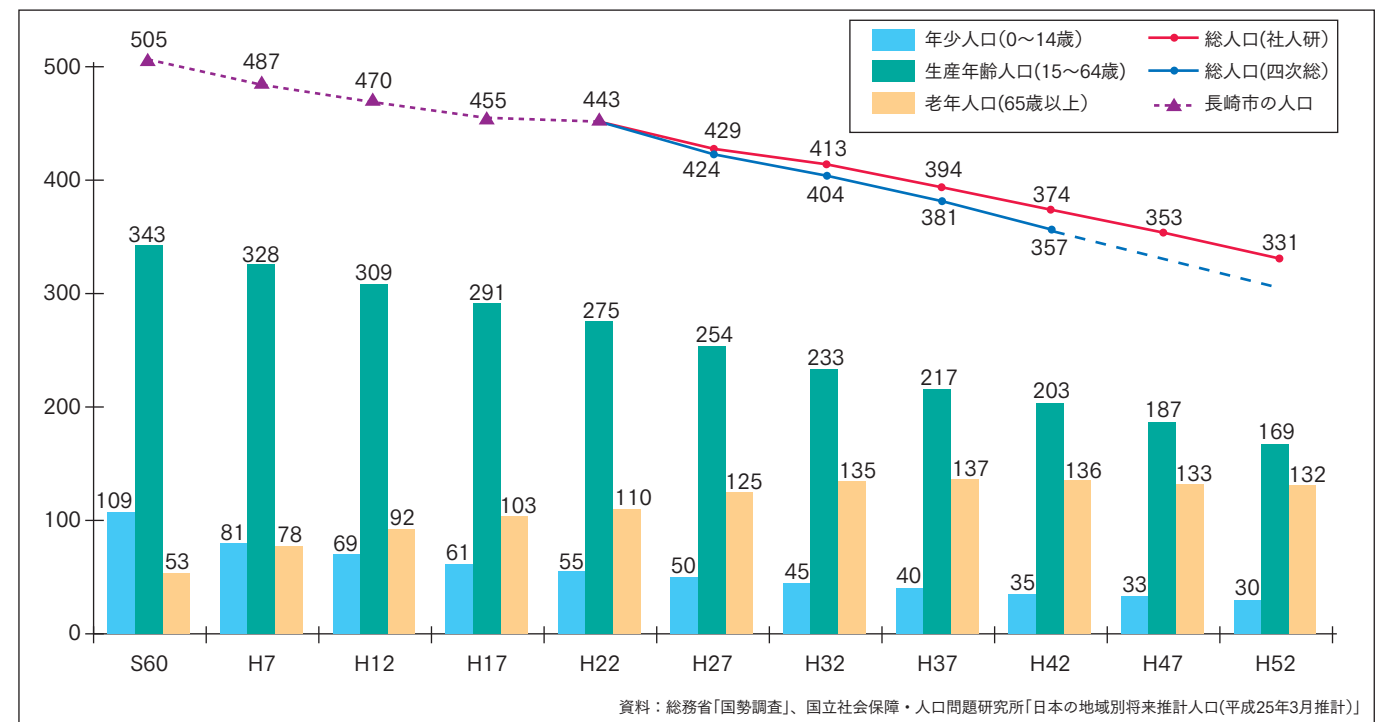
### 厳しい財政状況

- ★歳入: 自主財源の割合が低い ⇒ 市税収入が乏しく、国(交付税)などへの依存度が高い
- ★歳出: 義務的経費の割合が高い ⇒ 自由に使える経費が少ない



### 人口減少の社会へ

高度経済成長期: 昭和27~48年  
バブル景気: 昭和61年12月~平成3年2月  
第二次ベビーブーム: 昭和46~49年



★は新規

## ② 長崎市が計画している今後の大型事業 約865億円(実質的負担350億円)



### ● 今後想定される主な大型事業 ●

No.	施設名	総事業費(見込み)	事業期間(予定)	事業概要(進捗および検討状況)
1	新市庁舎建設事業	約200億円	H26~H32	● 公会堂および公会堂前公園敷地を建替え場所に決定 ● H26年度~ 基本・実施設計
2	端島(軍艦島)整備事業費	約10億円	H26~H31	● 現在の見込みは、最低限必要となる護岸工事などを想定している。 ● H26年度 高島炭鉱保存管理計画 ● H26~27年度 高島炭鉱整備活用計画
3	文化施設整備事業(公会堂)	約30億円	H32~H34	● 詳細未定のため想定される建設事業費を見込んでいる。
4	市民病院建設事業	約40億円	H20~H27	● 現在建設中 ● 総事業費約200億円(建設事業費ベース)
5	新西工場建設事業	約80億円	H25~H28	● DBO方式(公設民営)にて建設 ● H25年度から事業着手
6	コンベンション施設(MICE施設)	約210億円	H26~H30	● 詳細未定 ● 長崎駅西側を予定地として検討中
7	長崎駅周辺土地区画整理事業	約154億円	H21~H35	● 事業着手済 ● 施行面積約19.2ha
8	JR長崎本線連続立体交差事業負担金	約88億円	H21~H32	● 事業着手済 ● 松山町~尾上町 L=約2.5km
9	九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)負担金	約13億円	H24~H34 認可から概ね10年	● 事業着手済 ● 長崎市負担延長 L=1.361km ● 長崎市の負担額:市負担延長に対する長崎県負担分の20%
10	市道大黒町筑後町1号線(拡幅整備)	約40億円	H26~H32	● H24現況測量・詳細設計 ● H25都市計画決定(予定)
	計	約865億円		

※上記は中長期的な財政シミュレーションをするにあたり、まだ決定されていない事業も含め、現時点で想定される大まかな数値です。

## 大型事業の主な概要

### 1 市庁舎建設事業

【ミッション】  
新市庁舎建設を進めます(H25年度 基本計画策定)

建設場所: 公会堂及び公会堂前公園  
建設規模: 延床面積4万5千~5万㎡程度  
平成31年度中に完成予定

現在の市役所別館  
現在の市庁舎本館 1959(昭和34年)~

総事業費 約200億円

### 3 文化施設整備事業(公会堂)

「市公会堂条例を廃止する条例」は  
2月議会で継続審議  
6月議会で可決!

総事業費 約30億円

### 4 新市立病院

【施設の概要】  
● 階数 I期棟(地下2階、地上8階) II期棟(地下1階、地上4階)  
● 病床数 513床(結核病床13床含む)

【新市立病院が提供する医療】  
● 「ER型救命救急センター」を整備  
● ヘルポートを設置  
● 「脳血管疾患医療」「心疾患医療」「がん医療」の提供  
● 地域の医療機関との連携  
● 母体・胎児、生まれたばかりの赤ちゃんのための周産期医療の提供  
● 市立病院として、災害医療、結核医療、感染症医療の政策医療を実施

【スケジュール】

項目	期日
工事着手	平成24年2月
I期棟建物の開院	平成26年2月
全面開院(グランドオープン)	平成28年5月

※ 完成予定図

総事業費 約40億円

### 6 コンベンション施設検討(MICE施設)

平成24年度 MICE施設整備可能性調査 → 平成25年度 方針決定  
(国土交通省「先導的官民連携事業」)

平成24年長崎市観光消費額 1,154億円(観光客数595万人)

MICEの宿泊客1人当たりの平均支出額 → 一般宿泊観光の約2.5倍  
※一般宿泊観光28,277円/人⇒MICE70,864円/人  
~平成23年長崎市コンベンション経済効果分析報告書より~

展示・商談会(他都市の様子)

総事業費 約210億円

### 9 九州新幹線西九州ルートの開通は、地域の発展や浮揚に大きく貢献します!!

● 中国・関西圏との観光や産業面での連携強化  
● 海外航路を介した日本とアジアとの新たな交流軸の形成等...

【整備効果】

- 1 長崎~博多間が最短28分短縮
- 2 鉄道利用者が約1.3倍(西九州~福岡・中国・関西方面)  
【現行】約1.5万人/日 ⇒【開業後】約1.9万人/日
- 3 費用便益 約1.1  
【総便益】約4,594億円  
【総費用】約4,206億円
- 4 フリーゲージトレインの導入

出典:国土交通省交通政策審議会整備新幹線小委員会資料  
九州新幹線西九州ルート(平成34年開業予定)

総事業費 約13億円

### 10 大黒町界隈の整備(市道拡幅・河川整備)

道路整備と河川整備の総合的な計画による、長崎駅周辺からまちなかへの回遊性向上

慢性的な交通渋滞の解消  
水に親しめる河川環境の整備

交通渋滞状況

市場解体状況

総事業費 約40億円

# 現在検討中のMICE施設整備について(概要)

## 1. 計画概要

### (1)敷地

長崎駅西側用地(現民有地)約 20,000 m<sup>2</sup>  
及び隣接保留地約 3,000 m<sup>2</sup>

### (2)施設構成(案)

MICE センター棟、展示ホール棟、会議室棟、駐車場、ホテル棟

### (3)施設規模(案)

- ①メインホール:約 3,000 m<sup>2</sup>(最大 5,000 人収容可能)
- ②展示ホール:約 3,000 m<sup>2</sup>(多様なイベント等が開催可能)
- ③多目的ホール:約 2,100 m<sup>2</sup>
- ④会議室:約 4,500 m<sup>2</sup>

このほか、駐車場(300 台程度)、民設民営によるホテル(200~300 室程度)、経済活性化施設(企業誘致のためのオフィス等のスペース)を設置予定。

### (4)施設機能(案)

(複合型)学会・大会会場、コンベンション会場、  
展示会・見本市会場、一般会議室

### (5)事業手法

- ・公設民営方式・指定管理者制度の導入。
- ・利用料金制による独立採算での運営。
- ・ホテル事業は民設民営方式で実施。

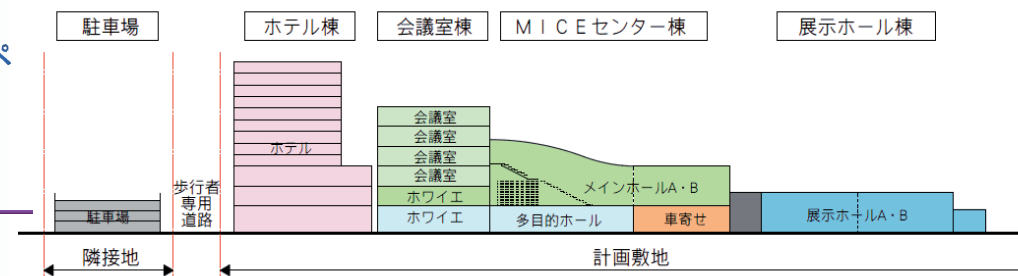
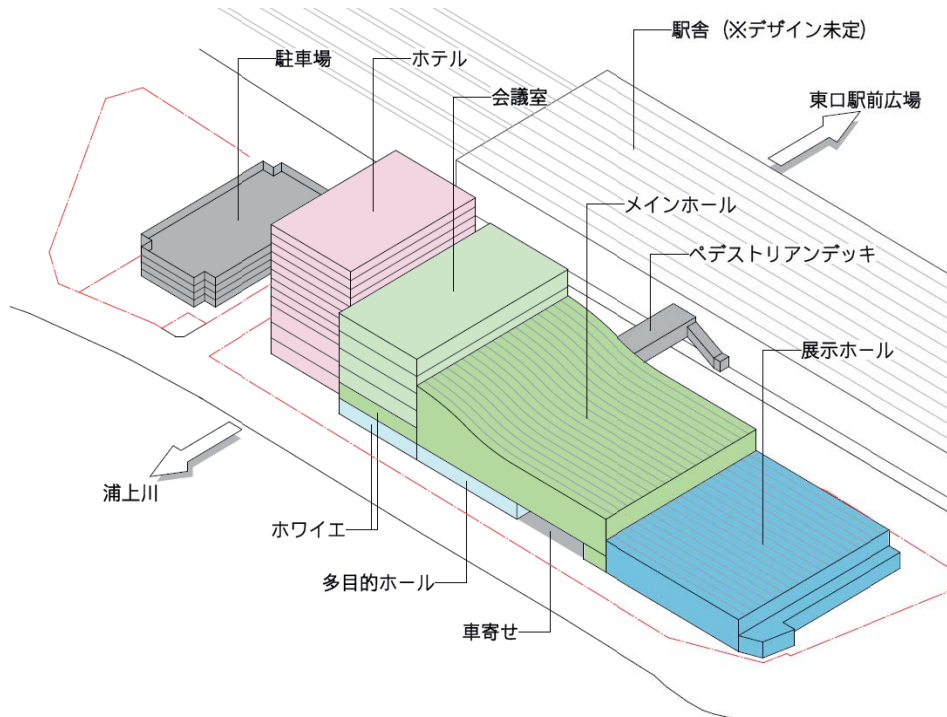
### (6)建設費

約 144 億円  
(ホテル部分は除く。用地費等は別途必要)。

### (7)供用開始時期

平成 31 年度供用開始。

※下記はイメージ図であり、実際の整備は要求水準を満たす事業者の提案による



## 2. 収支シミュレーションと経済波及効果

- 収支の試算では、年約 2,700 万円の黒字が見込まれる。
- 利用者は約 59 万人、総消費額は約 81 億円。経済波及効果は約 140 億円、市税増収効果は約 1 億 4 千万円。  
(観光庁「MICE経済波及効果測定モデル」より試算)

## 3. 経済界・大学の役割(第8回長崎サミットでの提案)

- 経済界**
- コンベンション誘致拡大に向けた産学官の推進体制の設置や経済界による基金の創設。
  - 「1 団体 1 コンベンションの推進運動」の推進。
- 大学**
- MICE支援における長崎大学と行政との連携協定の締結を検討。

## 4. 施設整備費144億円の財源

- 地方債:120.9億円
- 国庫支出金:9.7億円(旧まちづくり交付金を想定)
- 一般財源:13.4億円

- 地方債のうち交付税投入額:36.3億円
- **真水負担額:98.0億円**

## 5. 本計画の特徴

敷地条件面

- 交通結節点である新長崎駅(新幹線駅)に直結し、かつホテル併設により最高の利便性を提供。
- 新県庁や新長崎駅など新しい都市機能との連携により相乗効果を発揮。
- 周辺に利用者の利便性を高める飲食施設や商業施設、宿泊施設等が豊富に存在。
- 現在地はPCOから独立採算が可能な唯一の場所と評価。

施設面

- 競争力を確保するための会議機能・展示機能を兼ね備えた施設。
- 全国の黒字施設の特徴を踏まえ、維持管理コストが低い平土間で間仕切り可能なホールや多くの会議室を設置。
- 分離したメインホールと展示ホールにより、開催頻度が高い中規模程度のMICEの同時開催が可能となり、利便性と稼働率が向上。

**中規模程度  
(2,000~5,000 人)  
の学会等がメインターゲット**

施設の規模では、大規模(5,000 人以上)学会等を開催することが可能であるが、開催頻度が高い中規模程度の学会等を中心に誘致。

# ③ 長崎市の主な取り組み

## 長崎サミットプロジェクト

**〔ミッション〕**  
長崎市経営戦略推進会議&長崎サミットの窓口として産学官連携体制を確立します

重点推進項目4分野

基幹製造業	水産業	観光	教育(大学)
<ul style="list-style-type: none"> <li>大型客船受注</li> <li>ながさき海洋・環境産業拠点特区の指定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かんぼこ王国設立</li> <li>新商品開発「長崎おでん」等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州新幹線西九州ルート着工認可</li> <li>MICE施設整備可能性調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎留学生支援コンソーシアムの設置</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>建造拡大に向けた環境整備</li> <li>「総合特区計画」策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練り製品の域外展開の推進</li> <li>練り製品に続く水産業振興策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MICE施設整備方向性決定</li> <li>観光資源の磨き(夜景観光の推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学生支援センターの推進</li> <li>国際交流の場の拡大</li> </ul>

## まちぶらプロジェクト

陸の玄関口(長崎駅周辺) | 海の玄関口(松が枝周辺)

九州新幹線西九州ルートJR長崎本線連絡立体交差事業  
長崎駅周辺区画整理事業

まちなか

新大工市 | 中島川・寺町・丸山 | 浜んまち・開港 | 東山手・南山手 | 館内・新地

建設ケースの検討(イメージ)

## 【市内全域】車みちの整備

**目的及び概要**

密集市街地などの斜面地における、住民の居住環境の改善と防災性の向上

- 既存の市道において地域に応じた工夫
- 幅員4mにこだわらず迅速な整備
- 長崎市と地域との協働(地域の協力)

before → after

整備イメージ

## 夜景観光



## 【市内全域】街路灯LED化

省エネルギーの推進のため、すべての街路灯(蛍光灯)を5年間でLED灯へ転換する。

LED灯(参考) | 蛍光灯

- 事業期間**
  - 平成25年度～平成29年度(37,300灯)
- 設置件数(平成25年度)**
  - 転換灯数: 3,800灯
  - 新規設置灯数: 300灯

転換後

- ◎維持管理費(電気料含む)の削減 ≒ 8,100万円/年
- ◎CO2の削減 ≒ 568 t/年

## 【市内全域】老朽危険空き家対策

◆老朽危険空き家対策事業

既存市街地において、所有者から土地・建物の寄附を受け、建物を解体し跡地を公共空間として整備を行う事業

before → after

◆老朽危険空き家除却費補助金

市内全域において、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う所有者等に、その除却費の一部(最大50万円)を補助

◆平成25年度からの新たな取組み: 指導・支援の強化・拡充

- 空家等の適正管理に関する条例の制定
- 地震時等に著しく危険な密集市街地における除却費助成の創設

## 長く元気で!プロジェクト

住民が、健康で生きがいをもって暮らすことができる“しくみ”を広げていきます。

身近にある公民館や集会所を活用した「健康・生きがいサロン(愛称 いってみゆ〜)」の拡充

大学・企業 ↔ NPO 市民団体 ↔ 地域住民

住民交流の場 健康・生きがいづくりの推進!!

健康づくり推進員

- ・食生活改善推進員
- ・ロードワークサポーター
- ・高齢者ふれあいサロンのサポーター

## 出島表門橋プロジェクト

出島とその周辺の空撮写真(平成26年2月撮影) カピタン部屋など10棟の建造物を復元

第3・4期復元事業完成予想イメージ

平成28年度に出島中央部6棟の建造物を復元予定

## 公共施設マネジメント推進プロジェクト

長崎市公共施設の適正化方針の基本的な考え方

取組方針	方策及び手法	効果	
★削減目標 今後30年間(2015~2044年)の財源不足額 879億円(公共施設の保有床面積25%削減に相当)を解消する。	1 施設整備の選択と集中	<ul style="list-style-type: none"> <li>① &lt;対象を絞る&gt; 投資的経費は、存続させる施設にのみ投入する。廃止対象施設の大規模改修の凍結</li> <li>・廃止対象施設に対する計画的予防保全・長寿命化</li> <li>② &lt;数を減らす&gt; 将来の市民ニーズ、社会環境の変化等を十分に検証し、今後も行政として保有すべき施設だけを残す。施設の統廃合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の安全性の向上</li> <li>・長寿命化による施設の有効活用</li> <li>・改修・維持管理コストの削減</li> <li>・統廃合による建替え・改修・維持管理コストの削減</li> </ul>
	2 保有床面積の削減(総量抑制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ &lt;複合化を促進する&gt; 施設と機能(行政サービス)を切り離し、複合化(1施設多機能化)の促進により施設規模の適正化を図る。既存施設の余剰スペースへの他施設の機能の複合化</li> <li>・建替え時の適正規模と複合化の検討</li> <li>④ &lt;枠を守る&gt; 施設の新規整備は、総量抑制の数値目標内で行う。新規施設の床面積と同規模の既存施設の床面積の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的が異なる利用者の集約による多世代交流の促進及びコミュニティの活性化</li> <li>・複合化により玄関、階段、会議室等を共有することによる総床面積の削減</li> <li>・余剰スペースの有効活用</li> <li>・部局間連携の促進</li> </ul>
★計画期間 15年間(2015~2029年)	3 新たな財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ &lt;財源を創る&gt; 民間活力を積極的に活用する。PPP(公民連携)の導入</li> <li>⑥ &lt;収入を増やす&gt; 自主財源を拡大する。低未利用資産の売却・貸付</li> <li>・受益者負担の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の過剰整備の抑制</li> <li>・新たな行政サービスの展開</li> <li>・公費投入の低減</li> <li>・市有地の売却・貸付による収入増</li> <li>・使用料の適正化</li> </ul>

## 世界遺産登録推進プロジェクト

端島炭坑(明治日本の産業革命遺産) 平成27年度登録を目指す

大浦天主堂(長崎の教会群) 平成28年度登録を目指す

## 国際観光誘致プロジェクト

〔ミッション〕 外国人観光客の満足度を高めるための受入体制を整備します

これまで行ってきた主な整備 【長崎市アジア・国際観光戦略】(H23~H25)

Call Center | Easy-to-Use Multilingual Travel Information about Nagasaki City!

外国人観光客の改訂(実践的な情報を掲載) | 多言語表記による観光地周辺の歩行者誘導サイン

外国人旅行者専用ダイヤルの新設(あじさいコル内に設置)

平成24年 クルーズ船寄港数73回(過去最高) (平成25年 39回)